

事例番号:380044

原因分析報告書要約版

産科医療補償制度
原因分析委員会第七部会

1. 事例の概要

1) 妊産婦等に関する情報

経産婦

2) 今回の妊娠経過

特記事項なし

3) 分娩のための入院時の状況

妊娠 29 週 6 日

11:00 頃- 性器出血あり

11:31 出血のため搬送元分娩機関受診し腔鏡診で出血の排出および
超音波断層法で胎盤と対側に 10cm の血腫あり

13:15 常位胎盤早期剥離疑いのため当該分娩機関へ母体搬送となり
入院

4) 分娩経過

妊娠 29 週 6 日

13:35- 超音波断層法で胎盤辺縁に 10cm 大の低エコー域あり

14:22 常位胎盤早期剥離疑いのため帝王切開により児娩出、手術時に
子宮溢血所見と手拳大の血腫排出

胎児付属物所見 血性羊水あり

5) 新生児期の経過

(1) 在胎週数:29 週 6 日

(2) 出生時体重:1300g 台

(3) 臍帯動脈血ガス分析:pH 7.31、BE -0.6mmol/L

(4) アプガースコア:生後 1 分 1 点、生後 5 分 5 点

(5) 新生児蘇生：人工呼吸（ハック・マスク、チューブ・ハック）、気管挿管

(6) 診断等：

出生当日 極低出生体重児、新生児呼吸窮迫症候群

(7) 頭部画像所見：

生後 55 日 頭部 MRI で両側側脳室外側と後角周囲に嚢胞性病変を認め、低酸素性虚血性脳症の所見

6) 診療体制等に関する情報

<搬送元分娩機関>

(1) 施設区分：診療所

(2) 関わった医療スタッフの数

医師：産科医 2 名

看護スタッフ：不明

<当該分娩機関>

(1) 施設区分：病院

(2) 関わった医療スタッフの数

医師：産科医 4 名、小児科医 2 名、麻酔科医 1 名

看護スタッフ：助産師 5 名、看護師 1 名

2. 脳性麻痺発症の原因

(1) 脳性麻痺発症の原因は、常位胎盤早期剥離による胎児低酸素・虚血によって低酸素性虚血性脳症を発症したことであると考える。

(2) 常位胎盤早期剥離の関連因子は認められない。

(3) 常位胎盤早期剥離の発症時期を特定することは困難であるが、妊娠 29 週 6 日の 11 時頃またはその少し前の可能性があると考ええる。

3. 臨床経過に関する医学的評価（2020 年 4 月改定の表現を使用）

1) 妊娠経過

妊娠中の管理は一般的である。

2) 分娩経過

(1) 妊娠 29 週 6 日、出血を訴え搬送元分娩機関を受診した際の対応（腔鏡診、超

音波断層法による胎児心拍数と胎盤の確認、分娩監視装置装着)は一般的である。

- (2) 妊産婦の症状(性器出血)および超音波断層法所見(子宮内の血腫像)より常位胎盤早期剥離を否定できないため、母体搬送としたことは一般的である。
- (3) 当該分娩機関における母体搬送受け入れ後、妊産婦の症状(持続する性器出血)および超音波断層法所見(胎盤辺縁の10cm大の低エコー域)より常位胎盤早期剥離を否定できないと判断し、帝王切開としたことは一般的である。
- (4) 帝王切開決定から47分後に児を娩出したことは一般的である。
- (5) 臍帯動脈血ガス分析を実施したことは一般的である。
- (6) 胎盤病理組織学検査を実施したことは適確である。

3) 新生児経過

新生児蘇生(バッグ・マスクによる人工呼吸、気管挿管、チューブ・バッグによる人工呼吸)は一般的である。

4. 今後の産科医療の質の向上のために検討すべき事項

1) 搬送元分娩機関および当該分娩機関における診療行為について検討すべき事項

(1) 搬送元分娩機関

なし。

(2) 当該分娩機関

なし。

2) 搬送元分娩機関および当該分娩機関における設備や診療体制について検討すべき事項

(1) 搬送元分娩機関

分娩監視装置等の医療機器については定期的に点検を行うことが望まれる。

【解説】通常、当該分娩機関では分娩監視装置の胎児心拍数陣痛図のデータ保存をしているが本事例では機器の不具合により保存できず提出できなかった(「原因分析に係る質問事項および

回答書」による)との回答であった。胎児心拍数陣痛図は原因分析にあたり極めて重要な資料であるため、定期的に機器の点検を行い常に保存できるようにしておくことが望まれる。

(2) 当該分娩機関

なし。

3) わが国における産科医療について検討すべき事項

(1) 学会・職能団体に対して

常位胎盤早期剥離は、最近の周産期管理においても予知が極めて困難であるため、周産期死亡や妊産婦死亡に密接に関与する。常位胎盤早期剥離の発生機序の解明、予防法、早期診断に関する研究を推進することが望まれる。

(2) 国・地方自治体に対して

なし。